

# ピース・ウイング長崎 会報

# へんりゃ

# 135号

■公益財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961  
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 平和祈念式典関連写真、長崎平和宣言
- アジア青年平和交流事業について
- 大村市競艇企業局様からの寄付金贈呈について
- 「市民のつどい」のお知らせ
- TOPICS! (被爆者健康講話のお知らせ、市民対象碑めぐりのお知らせなど)
- トルーマン元大統領の孫らが来崎
- 海外原爆展開幕報告
- 「長崎国際平和映画フォーラム2012」のお知らせ



海外原爆展会場で心をこめて鶴を折る来場者（アイスランド・レイキャヴィーク市立図書館にて：5 ページに関連記事）



被爆者歌う会「ひまわり」による「もう二度と」の合唱



# 67年目の祈りの夏

## 核兵器廃絶と平和の願い 世界へ

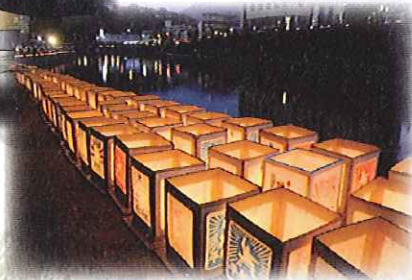
67年目の夏、祈念式典会場とその周辺では、原爆犠牲者への追悼と、核兵器のない平和な世界を願って、さまざまな行事が行われました。

追悼平和祈念館でも、交流ラウンジにて式典の模様を放映しました。

安



山里小学校児童による「あの子」の合唱



平和の祈りを込めて行われた万灯流し



平和を願い捧げられた千羽鶴



平和宣言を読み上げる田上富久長崎市長



黙祷を捧げる山里小学校の児童ら

原爆犠牲者



黙祷を捧げる城山小学校の児童ら

8月1日～9月2日

### 長崎原爆写真展「軌跡 ～原爆からの復興・NAGASAKI～」

写真資料調査部会による長崎原爆写真展が追悼平和祈念館交流ラウンジで開催されました。

67年前の被爆の惨禍と復興していく長崎の姿を写した写真に、多くの来館者が足を止め熱心に見入っていました。



会場の様子



見学者に写真の説明を行う深堀写真資料調査部会長

(一部の写真は長崎市広報広聴課提供)

# 長崎平和宣言

人間は愚かにも戦争をくりかえしてきました。しかし、たとえ戦争であっても許されない行為があります。現在では、子どもや母親、市民、傷ついた兵士や捕虜を殺傷することは「国際人道法」で犯罪とされます。毒ガス、細菌兵器、対人地雷など人間に無差別に苦しみを与え、環境に深刻な損害を与える兵器も「非人道的兵器」として明確に禁止されています。

1945年8月9日午前11時2分、アメリカの爆撃機によって長崎に一発の原子爆弾が投下されました。人間は熱線で黒焦げになり、鉄のレールも折れ曲がるほどの爆風で体が引き裂かれました。皮膚が垂れ下がった裸の人々。頭をもがれた赤ちゃんを抱く母親。元気そうにみえた人々も次々に死んでいきました。その年のうちに約7万4千人の方が亡くなり、約7万5千人の方が負傷しました。生き残った人々も放射線の影響で年齢を重ねるにつれて、がんなどの発病率が高くなり、被爆者の不安は今も消えることはありません。

無差別に、これほどむごく人の命を奪い、長年にわたり人を苦しめ続ける核兵器がなぜいまだに禁止されていないのでしょうか。

昨年11月、戦争の悲惨さを長く見つめてきた国際赤十字・赤新月運動が人道的な立場から「核兵器廃絶へ向かって進む」という決議を行いました。今年5月、ウィーンで開催された「核不拡散条約(NPT)再検討会議」準備委員会では、多くの国が核兵器の非人道性に言及し、16か国が「核軍縮の人道的側面に関する共同声明」を発表しました。今ようやく、核兵器を非人道的兵器に位置付けようとする声が高まりつつあります。それはこれまで被爆地が声の限り叫び続けてきたことでもあります。

しかし、現実はどうでしょうか。

世界には今も1万9千発の核兵器が存在しています。地球に住む私たちは数分で核戦争が始まるかもしれない危険性の中で生きています。広島、長崎に落とされた原子爆弾よりもはるかに凄まじい破壊力を持つ核兵器が使われた時、人類はいったいどうなるのでしょうか。

長崎を核兵器で攻撃された最後の都市にするためには、核兵器による攻撃はもちろん、開発から配備にいたるまですべてを明確に禁止しなければなりません。「核不拡散条約(NPT)」を越える新たな仕組みが求められています。そして、すでに私たちはその方法を見いだしています。

その一つが「核兵器禁止条約(NWC)」です。2008年には国連の潘基文事務総長がその必要性を訴え、2010年の「核不拡散条約(NPT)再検討会議」の最終文書でも初めて言及されました。今こそ、国際社会はその締結に向けて具体的な一歩を踏み出すべきです。

「非核兵器地帯」の取り組みも現実的で具体的な方法です。すでに南半球の陸地のほとんどは非核兵器地帯になっています。今年は中東非核兵器地帯の創設に向けた会議開催の努力が続けられています。私たちはこれまでも「北東アジア非核兵器地帯」への取り組みをいくどとなく日本政府に求めてきました。政府は非核三原則の法制化とともにこうした取り組みを推進して、北朝鮮の核兵器をめぐる深刻な事態の打開に挑み、被爆国としてのリーダーシップを発揮すべきです。

今年4月、長崎大学に念願の「核兵器廃絶研究センター(RECNA)」が開設されました。「核兵器のない世界」を実現するための情報や提案を発信し、ネットワークを広げる拠点となる組織です。「RECNA」の設立を機に、私たちはより一層力強く被爆地の使命を果たしていく決意です。

核兵器のない世界を実現するためには、次世代への働きかけが重要です。明日から日本政府と国連大学が共催して「軍縮・不拡散教育グローバル・フォーラム」がここ長崎で始まります。

核兵器は他国への不信感と恐怖、そして力による支配という考えから生まれました。次の世代がそれとは逆に相互の信頼と安心感、そして共生という考えに基づいて社会をつくり動かすことができるように、長崎は平和教育と国際理解教育にも力を注いでいきます。

東京電力福島第一原子力発電所の事故は世界を震撼させました。福島で放射能の不安に脅える日々が今も続いていることに私たちは心を痛めています。長崎市民はこれからも福島に寄り添い、応援し続けます。日本政府は被災地の復興を急ぐとともに、放射能に脅かされることのない社会を再構築するための新しいエネルギー政策の目標と、そこに至る明確な具体策を示してください。原子力発電所が稼働するなかで貯め込んだ膨大な量の高レベル放射性廃棄物の処分も先送りできない課題です。国際社会はその解決に協力して取り組むべきです。

被爆者の平均年齢は77歳を超えました。政府は、今一度、被爆により苦しんでいる方たちの声に真摯に耳を傾け、援護政策のさらなる充実に努力してください。

原子爆弾により命を奪われた方々に哀悼の意を表するとともに、今後とも広島市、そして同じ思いを持つ世界の人々と協力して核兵器廃絶に取り組んでいくことをここに宣言します。

2012年(平成24年)8月9日

長崎市長 田上富久

## トルーマン元大統領の孫らが来崎

広島、長崎への原爆投下を命じたトルーマン元米国大統領の孫のクリフトン・トルーマン・ダニエル氏と原爆投下機に搭乗したリーダー士の孫のアー・メイヤー・ビーザー氏一行が来崎しました。

8月7日、原爆資料館で継承部会の中川知昭さん、城臺美彌子さん、原田美智子さんと面談し、3人の被爆体験に熱心に耳を傾けました。

ダニエル氏は、「核兵器をなくしていくために、体験談を本にするなど、広く被爆体験を伝えていきたい」「悲劇を繰り返さず、次の世代のための明るい未来を築いていくことが最も大切」と話しました。



面談するダニエル氏(前左から2人目)とビーザー氏(同3人目)



## アジア青年平和交流事業

# 公開コンペティションを

# 開催しました

昨年度より大学生・高校生などの若者を対象に企画を募り、コンペティションを通して事業認定を行っている「アジア青年平和交流事業」ですが、去る7月21日に追悼平和祈念館において公開コンペティションを開催しました。

今年度は県内の大学生3グループから応募があり、各グループより企画についてのプレゼンテーションが行われました。



プレゼンテーションの様子

審査の結果、応募があった3件とも事業認定され、審査員からは、「どの企画も若者らしい斬新

なアイデアで、甲乙つけがたい」との意見が出されるなど、素晴らしい企画ばかりでした。



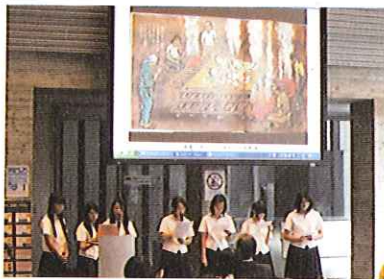
応募者のみなさん

今回事業認定した各企画に対しては協会より資金提供を行い、応募者自身の手で事業を実施し

ていただきます。

また、昨年度事業認定された活水高等学校平和学習部による「ふ

りそでの少女プロジェクト」の事業報告もあわせて行われました。



活水高校平和学習部による事業報告の様子

各賞および企画の概要は次のとおりです。

### ☆最優秀賞

長崎外国語大学

通訳・翻訳プロジェクトA

留学生と意見交換する場所・機会として「交流サロン」をつくる。

サロンには各国の文化や食事を紹介するブースを設けるほか、「これからのアジアの共生」というテーマで討論会を行う。

### ☆第二位

長崎大学

映画映像製作研究サークル止

アジアやその他の国からの留学生、旅行者に一枚の大きな布に平和を象徴する絵をペイントしてもらい、その様子を撮影する。完成した絵や映像を鑑賞する機会を設ける。

### ☆第三位

長崎外国語大学

通訳・翻訳プロジェクトB

原爆や戦争体験者にインタビューを行い、字幕翻訳を加えたDVDを製作する。DVDを教育機関や留学生に鑑賞してもらう機会を設ける。

# アイスランドで原爆展が開幕

長崎が平和の祈りに包まれた8月9日、アイスランド共和国では追悼平和祈念館が主催する原爆展「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」が開幕しました。

首都のレイキャヴィーク市立美術館で行われた開会式には、アイスランド前大統領や内務大臣、在アイスランド日本大使、駐日アイスランド大使など100人を超える来場者がありました。智多祈念館長が原爆展開催についてのお礼を述べた後、来場者に呼び掛け、1分間の黙祷を捧げました。



左から早崎さん、智多館長、ヴィグディス前大統領、オーグムンドゥル内務大臣

その後、継承部会員の早崎猪之助さんによる被爆体験講話が行われました。早崎さんが作成した資料を使用しながらの講話は大変迫力があり、終了後は会場から大きな拍手が起きました。早崎さんは開会式前日の8日にもアイスランド大学で被爆

体験講話を行い、多くの学生たちが耳を傾けていました。

原爆展会場となったレイキャヴィーク市立図書館には、原爆写真パネルや広島と長崎の被災資料、被爆体験記、被爆者証言映像に加え、今回新たに原爆投下前後の長崎市写真パネル（協会写真資料調査部会の協力を得て作成）、二重被爆者・山口彊氏の遺品（山口氏が描いた被爆マリアの絵、長崎と広島両市が記載されている被爆者手帳等）9点や放射線・放射性物質に関する説明資料が展示されました。



子どもの姿も多く見られました

会場内の折り鶴コーナーではアイスランドの「Origami Association」というボランティア団体の方が鶴の折り方を来場者に教え、集まった鶴は千羽鶴にして会場に飾られました。また、メッセージコーナーでは、たくさん来場者が平和への願いを込めたメッ

セージをカードに書き込み、設置された木の枝に結び付けていました。

## 国内2会場で原爆展を開催

アイスランドでの原爆展は8月9日から10月9日までの開催ですが、より効果的な展示を行うため、レイキャヴィーク市立図書館（8月9日～9月13日）とアイスランド大学（9月14日～10月9日）の2会場で実施します。

## 灯籠流しにも参加

アイスランドでは25年以上前から、原爆犠牲者のために、市民の手で灯籠流しが行われており、多くの人が参加しています。灯籠流しは市の中心部にあるチョルトニン湖で開催され、早崎さんや同行した職員も参加しました。



灯籠流しの様子（8月9日23時頃）

原爆展には観光でアイスランドを訪れた方達の来場もあり、9月14日時点で5300人を超える方にご来場いただいています。

## 大村市競艇企業局様よりご寄付をいただきました

「長崎原爆の日」に実施されたボートレース収益金の一部を毎年ご寄付いただいている大村市競艇企業局様より、今年も50万円のご寄付をいただきました。8月20日に行われた寄付金贈呈式では、同局の田中克史局長から横瀬理事長に目録が贈呈され、横瀬理事長からは感謝状と記念品をお渡ししました。



田中克史局長（右）と横瀬理事長

いただいた寄付金は、協会が実施するさまざまな事業に有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

# 長崎国際平和映画フォーラム2012

追悼平和祈念館が主催する「長崎国際平和映画フォーラム2012」が10月27日(土)、28日(日)および11月3日(土・祝)、4日(日)に開催されます。皆さま、ぜひご来場ください。

## 開催期間が4日間に拡大!

これまで2日間だった開催期間を、今年は4日間に拡大しました。多くの上映作品や様々なプログラムが鑑賞しやすくなりました。

## 国内外の話題作11本を上映!

昭和20年8月9日午前11時2分までの24時間の家族の様子を描いた「TOMORROW 明日」や「はだしのゲン(実写版)」、原発事故によるマスコミや原発管理者・経営者との対立を描いた映画「チャイナ・シンドローム」など、国内外の11作品を上映します。

期間中の上映作品・プログラムは次ページに掲載しています。

## 映画以外のプログラムも充実!

### ■女優・紺野美沙子さんによる朗読会&トーク

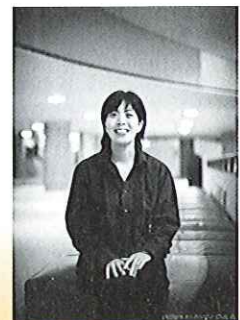
テレビ・映画・舞台のみならず、国連開発計画親善大使としてアジア・アフリカの国々を視察するなど、国際協力の分野でもご活躍中の紺野美沙子さんをゲストに迎え、朗読会を開催します。



紺野美沙子さん

### ■瀧瀬(はなぶさ)あや監督とのトークセッション

上映作品のひとつ「祝の島」の瀧瀬あや監督の舞台あいさつや、トークセッションを開催します。



瀧瀬あや監督

### ■被爆体験記朗読会

追悼平和祈念館が今年4月に開講した「被爆体験記朗読ボランティア育成講座」の受講生による被爆体験記朗読会を開催します。

### ■福島の高中生とのピースネット

長崎と南相馬市の高校生が祈念館のインターネット会議システムを使って、朗読や意見交換を行います。

### ■新聞記者によるシンポジウム

### ■地元テレビ局原爆関連ドキュメンタリー番組(英語字幕付)の放映

### ■在米被爆者の被爆証言ビデオの放映

### ■OMURA室内合奏団・長崎市役所二胡愛好会による演奏会

☆すべてのプログラムは入場無料です。

☆映画フォーラムに来場された方は、原爆資料館の入館料(観覧料)が映画フォーラム開催日は無料になります。また、同じく資料館内の喫茶「セントポール」での飲食代が映画フォーラム開催日は5%割引となります。

☆お越しの際は、公共交通機関をご利用ください(最寄りのバス停・電停「浜口町」)。

<お問い合わせ> 追悼平和祈念館 長崎国際平和映画フォーラム係 TEL (095) 814-0055  
HP: <http://www.peace-nagasaki.go.jp/> E-mail: [info@peace-nagasaki.go.jp](mailto:info@peace-nagasaki.go.jp)

	10月27日(土)	10月28日(日)	11月3日(土・祝)	11月4日(日)				
	原爆資料館ホール	追悼平和祈念館 交流ラウンジ	原爆資料館ホール	追悼平和祈念館 交流ラウンジ	原爆資料館ホール	追悼平和祈念館 交流ラウンジ		
10:00			10:00 「宮武東洋が 覗いた時代」 (98分) 監督:すずきひんいち		10:15 「みえない雲」 (103分) 監督:グレゴール・シュ ニツラー		10:00	
11:00		11:00 「長崎被爆をどう 伝えてきたのか?」 記事・写真パネル展示 (~11月4日まで)	11:00 地元テレビ局 原爆関連ドキュメ ンタリー放映 「神と原爆」 NBC製作	監督:稲塚秀孝 		10:30 額瀨あや監督との トークセッション 	11:00	
12:00	12:00 オープニング セレモニー 12:15 「TOMORROW 明日」 (105分) 監督:黒木和雄 	12:00 在米被爆者 証言ビデオ放映 (45分)	12:00 「明日が消える —どうして原発?」 (55分) 監督:千葉茂樹	11:45 稲塚秀孝監督 舞台挨拶			12:00	
13:00		13:00 被爆体験記 朗読会①	13:20 「チャイナ・ シンドローム」 (122分) 監督:ジェームズ・ブ リッジス	12:30 「父と暮らせば」 (99分) 監督:黒木和雄 	13:00 被爆体験記 朗読会②	13:00 紺野美沙子さん 朗読会&トーク 	13:00 ピースネット 長崎と南相馬 市の高校生が インターネット 会議システム を使って交流 します	13:00
14:00		OMURA室内 合奏団 四重奏 演奏会	14:00 新聞記者による シンポジウム 「被爆地長崎を どのように 伝えるのか?」	14:40 「祝の島」 (105分) 監督:額瀨あや 	長崎市役所 二胡愛好会 二胡 演奏会 	14:20 「TOMORROW 明日」 (105分・再上映) 監督:黒木和雄	14:00	
15:00	14:20 「はだしのゲン」 (107分) 監督:山田典悟 		15:50 「若い人」 (90分) 監督:西河克己	16:40 額瀨あや監督 舞台挨拶	16:30 被爆体験講話 講話者:廣瀬方人		15:00	
16:00							16:00	
17:00	16:30 「花はどこへ行っ た」 (71分) 監督:坂田雅子						17:00	
18:00							18:00	

の色がついたプログラムは、映画上映・番組放映です。

プログラムの内容や上映時間は、予告なく変更になることがあります。あらかじめご了承ください。



—昨年の市民のつどいの様子

このほか、「環境にやさしい風船」  
《折り鶴》《ミニコンサート》《わ  
たがし・ポップコーン》など、お子  
様も楽しめるコーナーもあります。

被爆写真を調査・研究している写  
真資料調査部会員から説明を聞く  
ことができます。

#### 《原爆被爆写真展》

戦時中の食事を試食して、当時の  
食糧事情を学ぶコーナー。

#### 《戦時食コーナー》

場所・原爆資料館前階段下広場

日時・10月27日(土)  
10時~13時頃

協会では、国連軍縮週間(10月  
24日~30日)に合わせて「市民のつ  
どい」を開催します。どなたでも気  
軽に参加できて楽しめるイベントです  
ので、ぜひご来場ください。

### 国連軍縮週間

#### 「市民のつどい」

## 碑めぐりに参加しませんか?

10月21日（日）に、当協会継承部会・原爆遺跡研修班が主催する「市民対象碑めぐり」を開催します。

参加費無料、事前のお申込みも不要です。ぜひ、ご参加ください。

日 時：10月21日（日）  
10：00～12：00（小雨決行）  
集合場所：長崎市立川平小学校 校門前  
※長崎バス「恵の丘」行に乗り、「三宝橋」バス停でお降りください。  
コース：永井隆博士が救護活動を行った「第11医療隊救護所」跡をめぐります。

参加費：無料

（「恵の丘」行きの主要バス停通過時刻）

バス停名	①	②
長崎新地ターミナル	8：50	9：20
長崎駅前	8：56	9：30
松山町	9：04	9：38
住吉（住吉中央公園前）	9：11	9：45
三宝橋	9：27	10：01

お問合せ：長崎平和推進協会  
電話（095）844-9922

## 被爆者健康講話のお知らせ

10月以降の講話予定をお知らせいたします。参加ご希望の方は追悼平和祈念館へご連絡ください。

場所：祈念館地下1階研究室（長崎会場）  
福江総合福祉保健センター2階研修室（五島会場）

時間：15：00～16：00

第5回 10月18日（木）  
「こころの健康、考えてみませんか？」

第6回 11月15日（木）  
「生活習慣病と眠り」

第7回 12月20日（木）  
「不整脈って何？」

※第5回講話のみ長崎会場は祈念館交流ラウンジで開催します。

※講話のテーマは変更になることがあります。

お問合せ：追悼平和祈念館

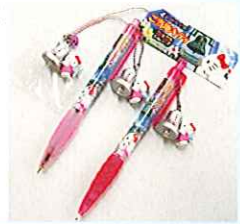
電話（095）814-0055

## 図書販売コーナー新商品紹介

原爆資料館図書販売コーナーにて、「長崎の鐘」をモチーフにしたご当地キティグッズを販売しています。お土産などにご利用ください。

- ・ストラップ 525円
- ・ボールペン 630円
- ・シャープペン 630円

（いずれも税込）



## 会員数報告

◎維持会員	1、108人
◎賛助会員	153人
◎学生会員	12人
平成24年9月18日現在	

## 寄付者紹介

ありがとうございます

◎大村市競艇企業局	五十万円
◎木下 セツ	二万九千円
◎松下 美榮子	一万円
◎横田 清廣	一万円
◎白鳥 純子	九千円
◎松元 久恵	三十円
◎匿名	六千円
◎匿名	千五百円
◎匿名	三百円

（敬称略）

## 会費納入のお願い

当協会の活動は、みなさまの会費に支えられています。今年度まだ会費を納めていただけない方は、何とぞ趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により郵便局でお支払いください。ますようお願いいたします。